

令和元年度 学校だより



潮 鳴 り

令和元年5月15日(水)
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

No.2

E-mail:
onichi@ed.city.omazaki.shizuoka.jp

仲間作りの花、やさしさの花が咲きはじめました

「し」をかくひ
かぜ みつる

ゆうべ
くりのきのところとおったら、さ
みのむしのやつ ないているのさ
こわいゆめ みたのだって
まだちいさいし、な
むりないよ



おれ あしたのぶんに とっておいた
そよかぜをだして ゆすってやった
みのむしのやつ わらってねむったぜ
あんまり かわいくて、さ
どうどう そよかぜ ぜんぶ
つかちまって、さ
だから おれ きょう おやすみ
ひまだから 「し」かいてるの

〈どうなおこ「のはらうた」より〉

上級生としての自覚と自負の芽生え

令和元年度がスタートしました。平成末から令和始めまでの10連休で、英気を養った子どもたちが、元気に学校に帰ってきました。うれしいです。

5月10日(金)はスクラムグットマナーの日でした。朝の校門付近には、あいさつ委員会やあいさつボランティアの子どもたち、教職員とともにPTA役員のみなさんや中部電力の社員のみなさんが子どもたちに、あいさつのボイスシャワーを掛けてくださいました。雲一つない春の青空に見守られ、さわやかで温かな気持ちにさせてもらえたすてきな時間でした。

この日は、さらにすてきな出来事が続きます。連休前のインフルエンザの流行で延期になった『1年生を迎える会』を行いました。2週間以上も延期になり、子どもたちの意欲やテンションが心配されましたが、そんな憂いは何のその、1年生を温かく迎える『なかよしの花』がたくさん咲いた行事になりました。どの子も昨年度より一年学年が上がり、年下の子に優しくしてあげようとか、教えてあげようという「年長者としての思いやり」の心が育っています。それは、『のはらうた』の『かぜみつる』さんのみのむしくんを思う気持ちそのものだと思います。私は、1年生を迎える会での子どもたちから、御一小のさらなる成長の兆しを感じ、わくわく感が止まらなくなりました。『人』のもつ力はすばらしいです。「教育は人が人を浴びて育つこと」を実感しています。



体育館入場を待つひととき



(校長 増田久美子)



